

社会教育委員会 会議概要

- 1 審議会名 第7期第2回社会教育委員会
- 2 日 時 令和元年5月27日(月) 午後3時から午後5時15分まで
- 3 会 場 中央公民館 第2・3会議室
- 4 出席者 関和幸委員 青木千浪委員 金子昌平委員 竹花のり子委員 小山ひとみ委員
清水洋幸委員 滝澤共子委員 西澤むめ子委員【欠席委員：早坂委員 滝沢委員】
- 5 市側出席者 竜野生涯学習・文化財課長 西嶋人権同和教育政策幹 池田スポーツ推進課長
青木丸子地域教育事務所長 宮崎真田地域教育事務所長 宮越武石地域教育事務所長
小泉中央公民館長 滝沢西部公民館長 村山城南公民館長 山口上野が丘公民館長
酒井塩田公民館長 上原川西公民館長 清水市立図書館長 滝澤博物館長
小山生涯学習係長 宮崎生涯学習係主事
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 元年5月31日

協 議 事 項 等

- 1 開 会
 - 2 あいさつ(代表)
 - 3 自己紹介
 - 4 会議事項
 - (1) 令和元年度 重点目標 30年度の結果と令和元年度の計画
 - (2) 令和元年度 上田市教育委員会 社会教育関係事業計画について
(事務局)各所属長からそれぞれ説明
- 質問・意見
- (委員) スポーツ推進のチアリーディングについて、市の補助金はあるのか
(事務局) 奨励金を出している。全国大会のときは1人5千円、ただし上限5万円、国際大会は1人5万円、上限50万円の範囲で支援している。オリンピックの場合は、1人10万円出している。金額の多い少ないはあるが県内19市の中では支援している方。冬季の方の大会も、真田の方で支援を行っている。
- (委員) しおだ食堂では、学校との協働はあるか。一般的な子ども食堂という捉え方で良いのか。
(事務局) 学校とまったく連携していないことはないが、民生委員や料理などで活動している(地域の)皆さんと連携している。学校に情報提供はもちろんしているが、学校のニーズを吸い上げてという形ではない
- (委員) 解放子ども会の活動状況を教えてほしい。
(事務局) 緑が丘支部小学生2名、東前山は中学生4名、丸子小学生2名、武石はOBで高校生が1名、城南は休会中。
- (委員) 強化学習は、各学校から先生が来ているというのは4地区全てでやっているのか?週2回程?
(事務局) 武石を除く3地区で行っている。週2回行う内、1回は社会教育指導員、1回は学校の先生に来てもらっている。
- (委員) 通学合宿をやっている公民館では、どのように公民館が手伝い、どのように学校が絡んでいるのか。予算的な部分は怎么样了のか。
(事務局) 川西:2つの学校から応募が来る。24名の募集に対し、23名が応募。健康面も含めて毎日学校の教頭先生とは情報交換をしている。「地域の子どもたちは地域で育てる、見守る」というスローガンでやっているので分館役員、民生児童委員の方、地域のボランティア、食事等で川西公民館利用団体の方に調理・生活支援を頂いている。長野大学生も入ってもらい、学習支援、通学時の見守りも含めて地域全体で取り組んでいる。予算は参加費3000円を実費として徴収している。市の方でも予算化していて、諸々の部分は公費でやるところもある。
丸子公民館:実行委員会としてやらせてもらっている。メンバーはまちづくり協議会や食生活改善推進委員会の方、学校長、公民館運営審議会委員の皆さん等で当日スタッフとしても参加していただいている。
真田中央公民館:毎年早稲田大学の学生8名にお手伝いをお願いしている。20名の募集に対し、40名応募があった。

- (委員) 上野が丘のわいわい塾ではどれくらいの人数が参加し、何をしているのか
(事務局) H30年度は小学生96人、ボランティア56人。中高生ボランティア55名。4日間開催。工作やおやつ作り、運動を行う。人数が増え、安全確保が課題。
- (委員) 将来的には公文書館を作りたいということか(博物館の資料整理を受けて)
(事務局) 公文書の所轄は総務課。丸子の郷土博物館が選ばれたのは耐震基準の問題。当面は郷土博物館と併設。
- (委員) 日本遺産について詳しく伺いたい
(事務局) 日本遺産は世界遺産とは違い、外国人観光客誘致のきっかけになるような位置付けのもの。

(3) 今年度事業計画について

- (事務局) 6月の全県総会、上田市からは2名が県表彰受賞。
9月19日に県総会。その際複合型図書館(えんぱーく)視察予定
- (委員) 6月の全県総会、代議員を代表代理にお願いしたいが、良いか?
(委員) (全員同意)
(事務局) 昨年は5回会議を実施したが、今年度は会議を事前アンケートなどで行い、顔を合わせるの研修などをメインにしたい。
- (事務局) 視察先に二宮町(神奈川県)と掛川市(静岡県)があがっている。
(委員) 二宮市はCSが進んでいると横浜の担当者から聞いた。神奈川県は(社会教育の)レベルが高いので、気になる。
- (委員) 掛川市長は生涯学習とまちづくりに力を入れていた人。先進的などころを見てみたい
(事務局) 横浜市は大学の先生が多く実践的な活動をしている。
- (委員) 欠席している委員の意見も伺いたい
(事務局) 日程は9月25日・26日、10月23日・24日、10月29・30日がバス予約可。
(委員) 26日、29日、30日は都合が悪い。10月23・24も秋祭り前なので参加できるか不明。欠席の委員にも確認し、再度調整した方が良い
- (事務局) 公民館の事業計画表について、重点的な事業を3つほど抜き出したほうが良いか?
(委員) これまで通り、全部載ったものもほしい。
(事務局) 1ページに2館表示し、新たに備考欄を設け、説明等の詳細は備考欄に書いてもらうのはどうか。
(委員) 別で重点的に取り組む内容を3つほど載せたものを作ってもらい、説明してもらいたい。
(事務局) (了承)
- (委員) 映劇と笠原工業 どうして(文化遺産から)落ちてしまったのか詳しく聞きたい。
(事務局) 文化遺産の認定からは落ちたが、ストーリーは非常に面白い。
出来るだけ市民に示せるようにしていきたいが同じパターンで再度認定を受けるのは難しいので、ため池などがある塩田平で再申請するか検討している。
- (委員) 映劇などをゆっくりみたことがない。会議の時などに市内ツアーで見られたら良い。
(事務局) 市内なので、可能。次回会議は7月で良いか。
(委員) 良い。
(事務局) 7月には行先を決め、行程表を示せるようにしたい。

(4) その他

6 閉会

※ 次回の社会教育委員会議 令和元年7月上旬で実施を予定。